

医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）中間評価結果

1. 中間評価を実施した課題

課題名	TMEM180 を高発現する大腸がんにも有効な新規ヒト化抗 TMEM180 抗体の開発
代表機関	株式会社凜研究所
公募型	スタートアップ型
公募タイプ	研究開発タイプ

2. 本課題の概要

2018 年の大腸がん罹患数は約 15 万人、死亡数は約 5 万人であり増加を続けている。薬物治療の対象となる遠隔転移を有する例は約 2 割で 5 年生存率は 20%以下である。

ヒト化抗 TMEM180 抗体は、薬物治療のオプションが限られている大腸がんにおいて新たな治療選択肢となる可能性があり、特に KRAS 変異を有する大腸がんにおいても有用な治療薬となる可能性がある。本課題では世界で初のターゲットとして、日本発の抗体医薬の承認に繋げるため Phase1 試験までを実施するものである。

3. 評価結果

研究開発等の進捗状況及び今後の見込みについて評価した結果の概要を以下に示す。

「非臨床試験は順調に進捗し、Phase1 試験開始に必要な安全性、有効性も確認され、Phase1 試験の初回投与量の設定もできており、今後も計画通りに進捗することが期待される。」

以上、研究開発実施計画書にもとづき、進捗を確認した結果、本課題の継続を可と評価した。

以上